

給付終了の異動願(届)及び認定報告

独立行政法人日本学生支援機構理事長 殿

下記のとおり願出(届出)いたします。

※貸与奨学金及び給付奨学金(旧制度)の「異動願(届)」は様式が異なります。別途作成してください。		学籍番号	届出年月日	20	年	月	日
学校名	東京工業大学		生年月日	西暦	年	月	日
学部・学科(課程・研究科)			フリガナ	学年		年	
奨学生番号	5	2	0				
			氏名				

以下、該当する異動種別(【退学】【辞退】等)及び異動事由(病気、経済事情等)を☑で選択。**太枠は必須。**

記入者	<input type="checkbox"/> 【退学】		※「決定日」は、授業料未納により退学日/除籍日が遡る場合に記入。(休学から復学せず退学/除籍となり、その日付が遡る場合も同様に記入。)				
奨学生	<input type="checkbox"/> 病気 <input type="checkbox"/> 経済事情 <input type="checkbox"/> 一身上 <input type="checkbox"/> その他		● 決定日に基づいた異動始期で「退学(除籍)」の人力をしてください。				
学校	退学日/除籍日 (学籍を失った日)	20	年	月	日	はい 記入必須→	退学/除籍 決定日※
		20	年	月	日		

記入者	<input type="checkbox"/> 【辞退(短縮卒業・修了)】	
学校	卒業日/修了日 (学籍を失った日)	20
		年 月 日

以下、学校記入欄

1. 「退学」又は「辞退」に伴う適格認定の認定報告 (該当を☑で選択)

以下のとおり認定しましたので、報告します。

【該当する事由を選択】	
<input type="checkbox"/> ①修業年限で卒業できないこと(卒業延期)が確定した。 <input type="checkbox"/> ②修得単位数の合計が標準修得単位数の5割以下である。 <input type="checkbox"/> ③出席率が5割以下など、学修意欲が著しく低いと学校が判断した。 <input type="checkbox"/> ④連続して「警告」に該当する。	
該当なし	該当あり
【災害、傷病、やむを得ない事由】	
本人及び家族の病気等の療養・介護や、災害や事故・事件の被害者になったことによる傷病(心身問わず)、災害や感染症感染拡大等による授業・試験への出席困難等、学業不振について学生等本人に帰責性がない場合をいい、学生等本人のアルバイト過多については、それが学費・生活費のためであったとしても、「やむを得ない事由」には含まれません。	
該当あり	該当なし
【学業成績が著しく不良】	
<input type="checkbox"/> ①修得単位数の合計が標準修得単位数の1割以下である場合 <input type="checkbox"/> ②出席率が1割以下など、学修意欲があるとは認められない場合	
該当なし	該当あり
<input type="checkbox"/> 廃止に該当しない	<input type="checkbox"/> 廃止(返還が不要)
<input type="checkbox"/> 廃止(返還が必要)	
【手続き方法】●退学から入力 スカラACから退学(返還不要)を選択し、「給付様式1-①」を機構に送付。	【手続き方法】●廃止から入力 スカラACから成績による廃止(返還不要)、廃止基準①から④のいずれかを選択し入力、「給付様式1-①」を機構に送付。
【手続き方法】●廃止から入力 スカラACから成績による廃止(返還必要)、廃止基準①から④のいずれかを選択し入力、「給付様式1-①」と「給付様式17-別紙A」を機構に送付。	

2. 振込超過

<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	20	年	月	~	20	年	月
---	----	---	---	---	----	---	---

※振込超過がある場合は異動の入力を行わず、「振込金受取書」のコピーとともに「給付終了の異動願(届)及び認定報告」を本機構に送付してください。
 細戻りを依頼した場合も異動の入力を行わずに送付してください。
 4月以外の月に入学した者については、「廃止(返還必要)」の入力を行わず、振込保留のみ入力して本届出を送付してください。

上記記載のとおり相違ないことを証明いたします。

(学校の証明) 20 年 月 日

学校名 東京工業大学

担当部長※ 学務部長

※証明者は部長相当職以上の方としてください。

3. 未振込分の送金

○未振込分の送金は、以下の条件に該当する場合のみ認められます。
 希望する場合は状況を確認のうえ、チェックしてください。
 なお、該当しない場合は、記入があっても無効とします。

未振込期間において、学校処分による廃止・停止はない。

○未振込分の送金を希望しない場合は、スカラACにて停止(本人都合)を入力の上、「停止の異動願(届)」(給付様式1-②)を添付してください。

連絡事項記入欄

電話番号(担当者名)		
-		

学校番号	区分
104009	

ご記入いただいた情報及びあなたの奨学金に関する情報は、機構の奨学金支給業務、奨学金貸与業務(返還業務を含む)及び在籍する学校での授業料等減免業務のために利用されます。この利用目的の適正な範囲内において、当該情報(奨学金の返還状況に関する情報を含む)が、学校、金融機関、文部科学省及び業務委託先に必要に応じて提供されますが、その他の目的には利用されません。また、行政機関及び公益法人等から奨学金の重複受給の防止等のために照会があった場合は、適正な範囲内においてあなたの情報が提供されます。

(機構使用欄)

最終振込年月	20	年	月	振込超過	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	20	年	月	~	20	年	月	要返戻金額	円
--------	----	---	---	------	---	----	---	---	---	----	---	---	-------	---

提出先 異動・補導係	郵送の要否 必要	スカラAC入力 必要
---------------	-------------	---------------

異動願(届)を提出される方は、下記の確認・記入をお願いします。

退学・卒業・修了や休学の方は、後日連絡が取れる連絡先・書類送付先を記入して下さい。

留学の方は、大学のメールアドレス(@m.titech.ac.jp)あてに連絡するので記入不要です。

氏名			
住所	〒		
電話番号			
メールアドレス			
連帯保証人氏名 (機関保証者は本人以外で連絡が取れる者)	(続柄:)	電話番号	

留学の方は、当該留学のプログラム名をお知らせください。

--

< 貸与終了に係る異動 >

【退学】の方

上記の表に退学後の連絡先を記入して下さい。(後日、大学から書類を郵送します。)

在学猶予中の奨学金がある場合は、スカラネットより「在学猶予期間短縮願」を提出するか、窓口へ「在学届(在学期間短縮)」を提出して下さい。

【辞退】の方

卒業期までの返還期限猶予を希望する場合は、スカラネットから「在学猶予願」を提出するか、窓口へ「在学届」を提出して下さい。

【辞退(短縮卒業・修了)】の方

上記の表に卒業・修了後の連絡先を記入して下さい。学内進学する方は記入不要です。

在学猶予中の奨学金がある場合は、スカラネットより「在学猶予期間短縮願」を提出するか、窓口へ「在学届(在学期間短縮)」を提出して下さい。

(学内進学者は、進学後、改めて在学猶予の手続きをして下さい。)

< 休止 >

【休止(通常の休学)】の方

上記の表に休学中の連絡先を記入して下さい。

復学後は、「復活の異動願」による届出が必要ですので、窓口にお申し出ください。

届出しないと振込が再開しません。

【休止(留学)】の方

異動願(届)の【留学情報】欄も記入して下さい。

上記に当該留学のプログラム名をご記入ください。

留学中も連絡事項は大学のメールアドレス(@m.titech.ac.jp)にお送りします。

復学後は、「復活の異動願」による届出が必要ですので、窓口にお申し出ください。

届出しないと振込が再開しません。